

# 2021年度 Liga Agresiva 実施要項

## 理念「未来を見据えたチャレンジを！～末永く野球を続けるために～」

### 1. 目的

- ・選手育成を第一とした試合を行うこと。
- ・低反発金属バット(木製)バットの使用、直球中心の投球を行い、投打ともに地力をつけることをめざす。
- ・勝利をめざしてベストを尽くしたプレーをめざす中で、スポーツマンシップを正しく理解して正々堂々と勝負し、グッドゲームをめざす姿勢を育むこと。
- ・先進的な取り組みを行い、バットや球数制限、トーナメント制など高校野球界が抱える問題の改善をめざす。

### 2. 参加校

旭・門真なみはや・みどり清朋・香里丘S・香里丘J・花園・高津・大阪学芸・関西大倉・早稲田摂陵・立命館宇治・布施・阪南・羽衣学園 ※羽衣学園は今年度エキシビジョン参加

### 3. 期間

- ・予選リーグ…10月17日(日)～11月6日(土)
- ・決勝トーナメント…11月7日(日)～11月21日(日) ※23日(祝)は予備日

### 4. 試合日程…別紙参照

### 5. 運営およびルール

#### 【試合運営】

- ①予選リーグは2リーグ制とし、勝点率で予選順位を決定する。勝点は以下の通り。

コールド勝ち…3点 勝ち…2点 引き分け…1点 負け…0点
-------------------------------

勝点率が並んだ場合、1. 直接対決の勝敗 2. 勝利数 3. 得失点差 で順位を決定する。

- ②試合前に2試合目を勝点に入れるかどうか指導者間で協議の上、決定する。
- ③順位は6試合消化したチームを対象とし、6試合未満のチームは勝ち点率に関わらず最下位とする。
- ④決勝Tにおいて、運営上これ以上試合を延ばせない場合は、参加不可校の不戦敗とする。
- ⑤日没や部員数等の関係で9イニングを2試合できないことが予想される場合、試合前に指導者間で相談の上、7(5)イニングで実施しても良い。
- ⑥1人の選手が1日で出場できるイニングは原則12イニングまでとする。ただし、上記⑤の場合は10イニングまでとする。また、変則Wの日、決勝T、人数が少ないチームで試合運営上困難な場合はこの限りではない。(この場合も指導者は多くの選手に十分な出場時間を設けるように努める)
- ⑦予選リーグのみコールド制を採用する。(7回7点差、上記③の場合は5回7点差)
- ⑧予選リーグも含め、全試合でタイブレーク制を採用。(延長10回から無死1・2塁、継続打順)
- ⑨指定された試合は、状況を設定したうえで試合を行う。(別紙参照)
- ⑩高校卒業後も野球を継続する意志のある3年生については、出場を認める。

#### 【攻撃】

- ・打者はすべての打席で低反発金属バット(BBCORE.50)、もしくは木製バットを使用するものとする。
- ・1試合につき打者2人までバントを行っても良いとする。タイブレークに入った場合、バントに関する制限をなしとする。
- ・指導者はベンチに入り、選手交代、打者へのサインなどの指示を積極的に行う。
- ・選手交代は指導者が直接審判へ告げる。また、可能な限りサードコーチを指導者が行う。
- ・DH制を採用してもよい。

## 【投球】

- ・1人の投手の1試合における球数は「PitchSmart forLiga」のとおりとする。ただし、球数に達したらその打者まで投げ切ってもよい。(球数のカウントは各校マネージャーをお願いします)
- ・守備側の指導者は、故意四球を申告することができる。
- ・投球における変化球の割合は、2割程度とする。(多すぎる場合は指導者・審判から警告)  
変化球はカーブ、チェンジアップを推奨します。  
※上記の変化球がなぜ良いのかは各校指導者の方で説明をお願いします。
- ・指導者はタイムをとってマウンドに行くことができるが、同一イニングで同一投手のもとへ2回行けば、その投手は自動的に交代となる。

## 【表彰規定】

- ・優勝チームにはチャンピオンTシャツを授与する。  
チャンピオンTシャツは20枚を用意。(サイズはO→3枚・L→12枚・M→5枚)
- ・以下の4項目において個人表彰を行う。なお、個人表彰はリーグごとに表彰する。  
○打者部門 1. 最高打率(規定打席→試合数×2.0以上) 2. 最高長打率  
○打者部門 3. 防御率(規定投球回数→チーム試合数×1.5以上) 4. 奪三振率

## 6. その他

- ・参加費1.5万円を徴収します。(チャンピオンTシャツ代及び個人表彰記念品、各会場運営費など)
- ・試合球…各試合2球用意してください。
- ・低反発金属バットや木製バットは各校で用意してください。
- ・オンライン講習会(受講日時は学校ごとに調整)は必ず参加してください。  
(指導者の方も受講することを推奨します)
- ・今年度よりスコア集計アプリ「EasyScore」を導入します。